

中央大学 2026 年度一般選抜

【出題の意図】

試験日	2026 年 2 月 10 日
学部・試験方式	国際経営学部
科目	国語

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

大問一

第一問は、現代文の論理的文章についての問題です。今回は経済学者である加藤雅俊の『スタートアップとは何か — 経済活性化への処方箋』を題材としました。創業間もない企業であるスタートアップを通じた経済活性化には大きな期待が寄せられていますが、そのスタートアップに対する政府や地方自治体などによる公的支援について論じた文章です。経営・経済に関する文章の内容を的確に読み取ることができるか、また、読み取った内容に基づき、設問に的確に答えることができるかを問う問題を出題しました。漢字の知識を問う問題も設けました。

大問二

第二問は、現代文の論理的文章についての問題です。今回は経済学者である小塩隆士の『経済学の思考軸 — 効率か公平かのジレンマ』を題材としました。効率性と公平性という2本の評価軸は本来であれば互いに絡み合い、せめぎ合う性格のものであり、同時に議論すべきであるということを論じた文章です。経営・経済に関する文章の内容を的確に読み取ることができるか、また、読み取った内容に基づき、設問に的確に答えることができるかを問う問題を出題しました。漢字の知識を問う問題も設けました。

大問三

第三問は、現代文の論理的文章についての問題です。今回は政治学者である野口雅弘の『中立とは何か マックス・ウェーバー「価値自由」から考える現代日本』を題材としました。政治的中立という規範が侵害されることに対して、今日の日本では強い反発がありますが、この傾向をどのように考えるのかを論じた文章です。経営・経済以外の社会科学・人文科学の文章の内容を的確に読み取ることができるか、また、読み取った内容に基づき、設問に的確に答えることができるかを問う問題を出題しました。